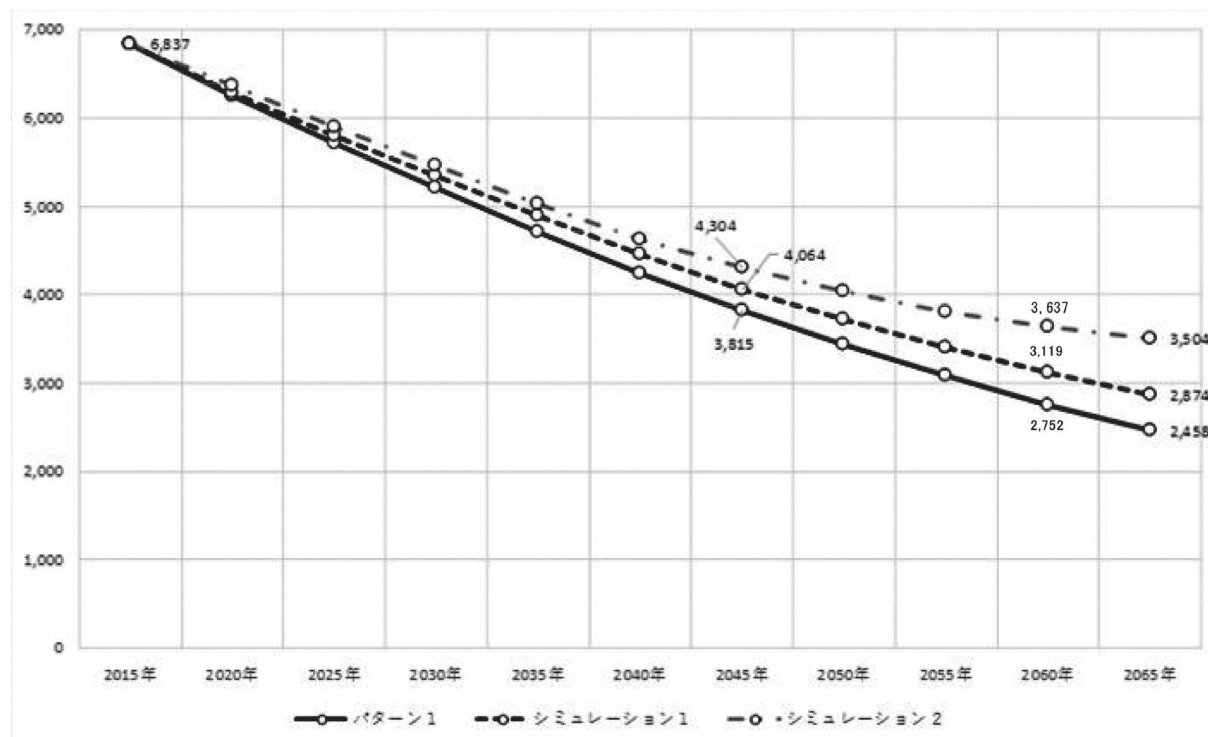




第2期まち・ひと・しごと総合戦略とは…

わが国では、少子高齢化を背景とする長期的な人口減少に歯止めをかけ、2060年に1億人程度の人口を確保するために「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に取り組み始めました。今回は平成27年に策定した第1期の総合戦略の実施を受け、新たに第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定します。

人口ビジョンによる人口の推計と人口目標の設定



パターン1 ……現状の合計特殊出生率、社会移動の傾向を継続
 シミュレーション1 ……合計特殊出生率を2030年に2.1とし、社会移動の傾向を継続
 シミュレーション2 ……合計特殊出生率を2030年に2.1とし、2030年に社会移動が均衡すると仮定

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計によると、当町の人口は現状の合計特殊出生率、社会増減の傾向を継続すると2065年に2,458人になることが予測されています。少子高齢化が一段と進み、高齢人口の割合が高まり、生産年齢人口と年少人口の割合が低下していきます。

一方で、合計特殊出生率を2.1まで回復させ、社会移動を均衡することによって、3,504人とする予測もされています。

社人研の推計に加え、当町独自に、2030年に合計特殊出生率を現状の約1.6から1.8に回復し、社会移動が均衡（転入と転出が同数）するとして推計した結果、2060年に3,270人という推計値が計算されました。この結果を踏まえ、当町では人口目標を以下のとおりとし、その目標に向け戦略を策定いたします。

2060年に3,300人超

総合戦略の理念とテーマ

(1) 総合戦略の基本理念

当町の総合戦略は、この町に住む人々が暮らしやすく、活動しやすいまちづくりに向け、安全性、利便性、快適性を備えた環境整備などへの取組をとし、魅力あるまちづくりを進めていきます。

自然と文化と時代の好循環が、まちの活性化を導くまちづくりを目指し、総合戦略の基本的理念を次のように設定します。

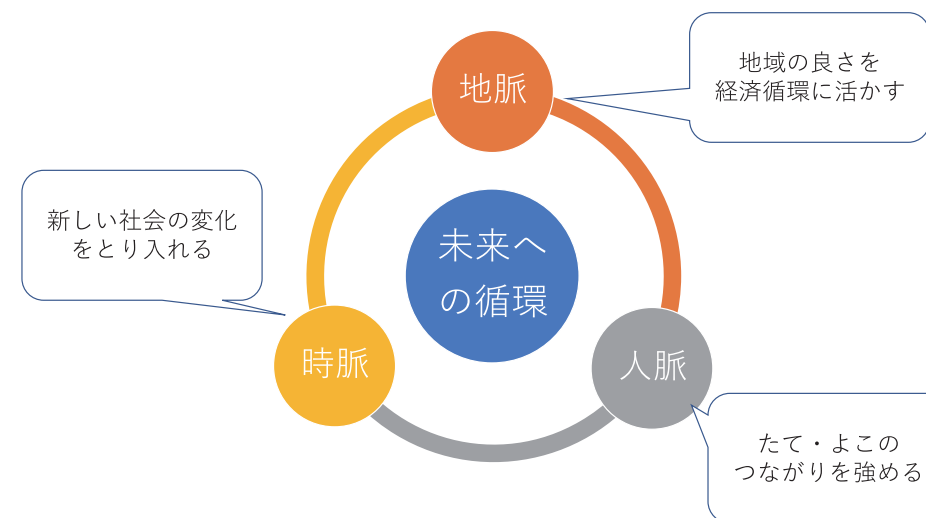
松崎に暮らすひとの喜びが ^{よろこ} 多くの人々を誘う ^{いざな} まちづくり

(2) 総合戦略のテーマ

松崎町の地方創生総合戦略は、長い時間の経過とともに培われてきたしごと、技能、文化にふれながら、この町に暮らすという“伝統と現代が調和した暮らし”を提案し、町の魅力を増幅させ、個性が輝く未来へのまちづくり戦略です。

こうした戦略を展開するに当たり、『地脈』、『人脈』、『時脈』を活かした継続性のあるまちづくりを目指し、地元住民とともに歩むまちづくりを展開します。

『伝統と現代が調和した暮らしのあるまち 松崎』



重点取組施策

- 桜葉産業の振興 ……町の貴重な財産である桜葉産業を振興し、担い手を確保します。
- なまこ壁・棚田の保全活用 ……なまこ壁の保存・修繕の補助、棚田の保存体制構築に取り組みます。
- 道の駅及び旧依田邸の整備活用 ……道の駅は観光交流拠点や地域産物の提供の場として整備の推進、旧依田邸は文化財の保全・修繕及び温泉施設と合わせて利活用を図ります。
- ふるさと納税の推進 ……特産品や自然を活かした体験等を返礼品とし町内事業者に還元します。
- 診療所の整備 ……地域で安心して適切な医療や指導が受けられる環境を構築します。
- 地域公共交通の充実 ……高齢者等町民のニーズに合った新たな地域交通システムを導入します。
- 移住定住対策の充実 ……地域おこし協力隊、空き家取得支援などにより定住の促進を図ります。





》 「未来への循環」 軌道



地脈・人脈・時脈を活かし、基本理念を実現し、目標を達成します。

地域経済を強くする循環

観光振興による経済循環の強化

- 棚田の保全と活用
- なまこ壁保存・修繕による景観保全と観光振興
- グリーンツーリズムの推進
- スポーツツーリズムの振興
- 文化財の保存と活用
- 海路整備による観光振興

特産品、農産物の販売強化による地域経済への波及

- 特産品、農産物の高付加価値化と販売促進
- 新技術活用などによる生産性向上の取り組み
- 農業の環境整備への取り組み

地域内経済循環の強化

- 起業家養成への取り組み
- ICT 活用による戦略的情報発信
- 直売所の整備

人が活躍し、人を呼びこむ循環

関係人口の増大を目指す取り組み

- 石部棚田を活用した米づくり体験や食育を支援する事業
- 大学等連携事業
- 特産品、松崎町でのさまざまな体験を返礼品としたふるさと納税制度
- 交流のある他の地域の自治体との交流事業
- 自然景観や温泉を活用した健康保養

誰もが活躍できる社会を目指す取り組み

- 女性活躍推進
- 障がい者活躍推進
- 高齢者活躍推進

移住・定住促進を目的とした取り組み

- 地域おこし協力隊
- 移住者受入体制整備

子供を育て、教育する循環

結婚・出産・乳幼児子育ての支援

- 妊婦・出産支援
- 子育て支援

就学時から高等教育までの支援

- 子供の居場所づくり
- 松崎高校の魅力化
- 就学支援の充実
- 学力・運動能力の向上

後継者育成支援

- 技術保存継承事業
- 地域おこし協力隊（再掲）

健康で安心して暮らす循環

町民の健康長寿を推進

- 健康増進に関連する機能
- 受診率の向上
- 診療所の整備

町民の安心な暮らしを実現

- 買い物等支援の充実
- 地域公共交通の充実
- 防災拠点再整備
- 公民館避難所機能強化
- 避難誘導案内図整備

町民同士のつながりを強化

- 地域リーダー育成
- 自主防災組織強化

》 重要業績評価指標（KPI）

項目	基準値	重要業績評価指標 (KPI)
1次産業就業者数	222人 (H27 国勢調査)	現在の水準を維持
2次産業就業者数	531人 (H27 国勢調査)	現在の水準を維持
3次産業就業者数	2,350人 (H27 国勢調査)	現在の水準を維持
観光客数	331,854人 (H30 静岡県統計)	年間3%増加 (384,710人・R6)
宿泊者数	92,259人 (H30 静岡県統計)	年間2%増加 (101,861人・R6)

項目	基準値	重要業績評価指標 (KPI)
転入者数	132人 (H31 住民基本台帳人口移動報告)	200人/年 (約10%/年増加)
転出者数	220人 (H31 住民基本台帳人口移動報告)	200人/年 (約1%/年抑制)
戦略実行による起業家数		年間1件
戦略実行による移住者数		年間5件
お達者度		県内順位 10位以内

